

あなたとまちのコミュニケーション情報紙

広報

あさし

平成
元年

12月号

No.412

朝日町役場/〒939-07 富山県下新川郡朝日町道下1133/☎0765-83-1100



10.22

3,000人が燃えた日

第22回町民体育祭

やっぱり運動会は熱い

2年に1度のお祭りだ

すばらしい秋晴れとなった10月22日、第22回町民体育祭が町民総合グラウンドで開催されました。

町で一番大きなこの体育イベントには、約3000人が参加、2年に1度のビッグな祭典を楽しみました。

競技は、親子協力継走を皮切りに、障害物継走、大なわとび、アベックキック、そして年齢別リレーなど17

種目が行われ、歓声と笑いが渦巻くなか、それぞれに熱の入った戦いを繰り広げました。

なお結果は、接戦の末、前回に続き大家庄地区が優勝を果たしました。



▲「ヤッター」と勝利のおたけび



▲よしっ あとはまかせとけ



▲最後のこれが効くラン、障害物女子



▲「それ行けー」熱狂の応援席



▲おっと、これが速さの秘けつか?



▲「いーち、にーい、さーん」声と足をそろえてみんなでジャンプ



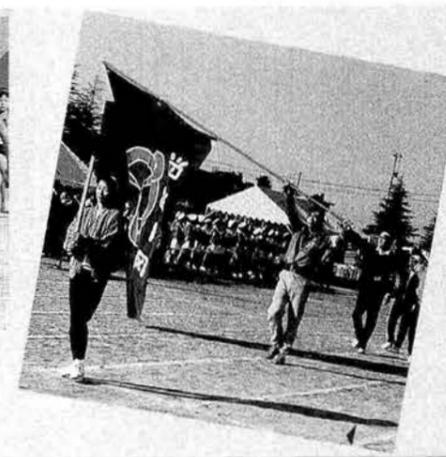
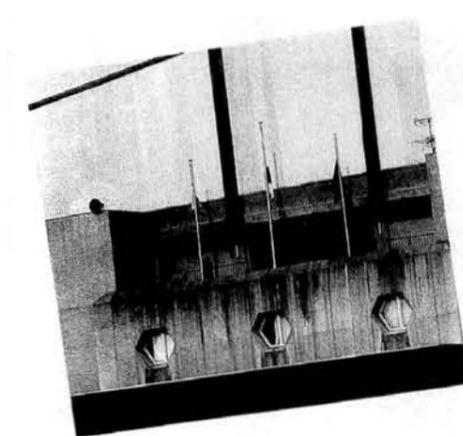
▲メガネを上げて、余裕の走り



▲気持ちはこつちボールはあつち



▲ラストスパート!



歳出の内容を「健康・生きがいと文化のまちづくり」「快適で住みよいまちづくり」「活気と魅力に満ちたまちづくり」「行政の推進」に分類し、主なものを列挙すると次のようになります。

健康・生きがいと文化のまちづくりに

健康増進対策費	2,693万円
老人福祉費	1,549万円
保育所運営費	3億9,954万円
小中学校運営費	2億5,880万円
青年・婦人・児童クラブ各種活動費	740万円
文化財保護費	448万円
体育振興事業費	1,097万円

快適で住みよいまちづくりに

道路新設改良事業費	3億2,901万円
都市計画事業費	6,159万円
無雪害街づくり事業費	8,414万円
災害復旧事業費	1,056万円
住宅対策事業費	3億2,004万円
河川・治山事業費	1,930万円
清掃事業費等	7,557万円

活気と魅力に満ちたまちづくりに

農地・農道整備事業費	3億47万円
農村総合整備事業費	3,543万円
林道事業費	1億1,157万円
山村振興事業費	6,281万円
水産業振興事業費	2,249万円
商工業振興事業費	7,761万円
観光事業費	4,271万円

行政の推進に

友好都市事業費	50万円
O A化推進事業費	143万円
広域行政費	9,531万円
公債費	3億8,483万円

特別会計

	歳入	歳出	差引
国保会計	81,219	79,092	2,127
老人保健医療会計	150,793	149,771	1,022
診療所会計	6,967	5,088	1,879
簡易水道会計	14,842	14,726	116
用水会計	501	442	59
奨学資金会計	119	110	9
保健文化賞会計	52	6	46
用地取得会計	1,476	416	1,060

企業会計(泊病院)

	歳入	歳出	差引
収益的収支	215,447	213,777	1,670
資本的収支	13,437	19,048	△5,611
計	228,884	232,825	△3,941

昭和63年度

歳入 50億2,093万円

歳出 48億4,463万円

くの支出となりました。また、性質別歳出構成比をみると、投資的経費は、公営住宅建設事業、町道泊桜町線道路改良事業、無雪害街づくり事業、農道林道整備事業、棚田ファミリーランド整備事業などの各種建設事業や災害復旧事業で14億8,954万円(対前年度比6.0%増)、全体の30.8%になりました。さらに、義務的経費は、人件費、扶助費(生活・医療・教育扶助)、公債費(町債の償

性質別歳出構成比

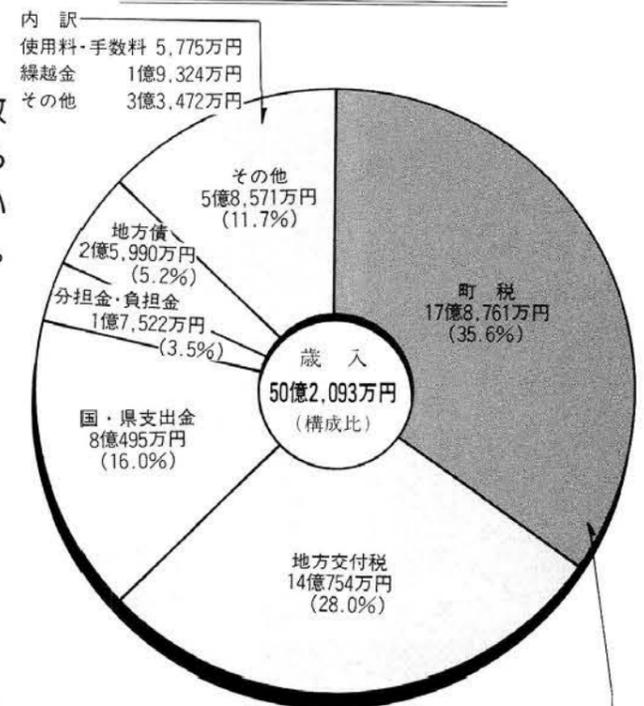
	義務的経費	投資的経費	その他
63年度	40.4%	30.8%	28.8%
62年度	41.9%	31.8%	26.3%
61年度	41.7%	31.5%	26.8%

還金)で19億5,831万円、全体の40.4%、その他は、維持補修費、補助費、物件費、積立金などで13億9,678万円、全体の28.8%となりました。

決算報告

昭和63年度の決算がまとまりました。町政は、皆さんから納めていただく税金や国からの地方交付税などを財源として運営されています。ここでは一般会計を中心に紹介します。

一般会計歳入(図-1)



一般会計決算

昭和63年度の一般会計決算額は、歳入総額50億2,093万円、歳出総額48億4,463万円、差し引き1億7,630万円となり、この差引残金は平成元年度に繰り越されます。

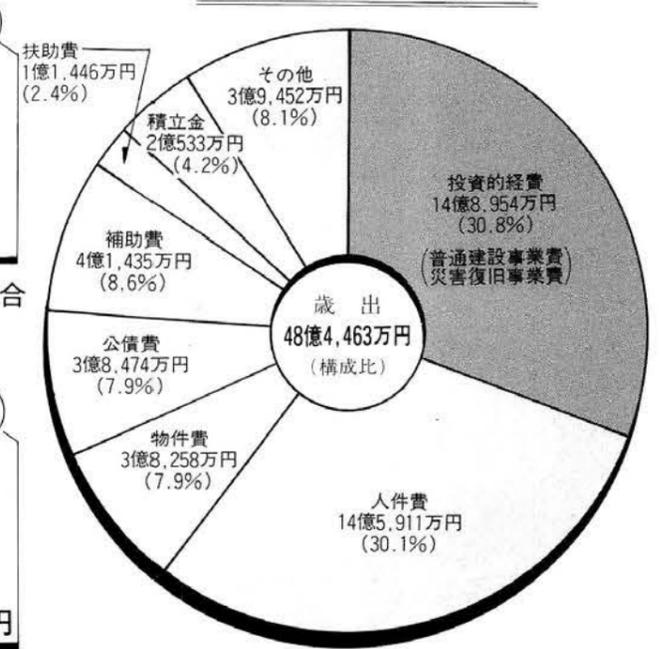
歳入の状況

歳入の状況は、町税が17億8,761万円(対前年度比2.0%増)で、次に地方交付税が14億7,549万円(対前年度比1.7%増)、国・県支出金が8億4,955万円(対前年度比1.5%増)となりました。

歳出の状況

歳出では、目的別にみると、土木費、農林水産業費、総務費、民生費、衛生費の順で多

性質別歳出(図-2)



一般会計目的別歳出 歳出総額

48億4,463万円

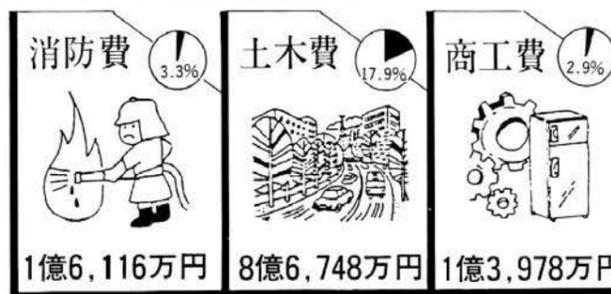
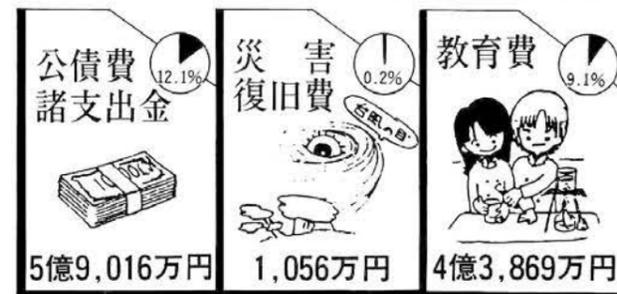




イラスト
大蔵宏子さん
(羽入・16歳)

★このページをみんなでつくるページにしたいと思います。イラストやマンガ、ご意見、皆さんに知らせたいこと、なんでもけっこうです。どしどしお寄せください。
紙上匿名は、その旨をはっきり書いて、住所、氏名を明記して送ってください。
また、広報係では、広報あさひに対するご意見や、取り上げてほしい問題など皆さんの声をお待ちしています。ご一報を。



▲真美chan(15)

▲佐藤真寿美(15)



▲たかひろ36(?)



▲アサヒサミット(71)



ジェルメーツ

にぎやかな

「かもめの集団」

「ジェルメーツ」はどういう意味かと、よく尋ねられますが、名前の由来は「かもめの集団」。ペチャクチャ、ガヤガヤ、うるさいところがカモメにそっくりだということで、この名がつけました。みんなこのチーム名がとても気に入っています。

「入る者を拒まず、去る者を追わず」をモットーに発足し、今年で三年目になります。練習のかいあって、去年、今年と全国大会へも、チームを送り出しています。

チームの交流を図るため、年二回、発起人の菊地信夫さんをゲストに「菊地杯争奪戦」を行います。家族や友人なども交え、くじ引きで男女混合



▲にぎやかなかもめ達が集合

医療の現場から



泊病院耳鼻咽喉科
神田憲一先生

蓄膿症について

鼻の蓄膿症は慢性副鼻腔炎ともいわれ、耳鼻科ではよくみかける病気の一つです。

この病気は、鼻の両側や目の内側にある副鼻腔というところに炎症が起こり、そこに膿がたまる病気です。その膿が副鼻腔から鼻の中へ落ちると、鼻汁がでる、鼻がつまる、臭いがわからないなどの鼻症状がでてきます。さらに、副鼻腔の出口がふさがって袋のようになり、そこに炎症が反復すると、頬がはれたり、ひどい場合には目を圧迫して目がずれたり、視力が低下することもあります。また、鼻汁が鼻の奥の耳管というくだを通して耳に入ると中耳炎を起こしたり、痰となってのどに落ちると、のどが痛い・のどがつまった感じがある・咳がでるといった症状が長びいたり、胃炎の原因になることもあるので注意が必要です。

治療法としては、昔はよく手術をしたものですが、今では軽い症状なら鼻の処置・吸入と薬の内服で大部分の患者さんがよくなります。しかし、重症になると手術がどうしても必要になる場合がありますので、自分が蓄膿症かなと思ったら早めに耳鼻科医に相談してください。

第3回 X'マス

ダンスパーティー

とき 12月 23日(土) PM 6:30

ところ 小川温泉天望閣 ラウンジ恋魚門

※チケット 2,500円(消費税込み)

主催 朝日町連合青年団

ゲルメーツ

後援 GUERNICA

ただ今スタッフ募集中

チケット及びスタッフのお問い合わせにつきましては、朝日町連合青年団(83-1560)まで!

みんなに知らせたいことがあたら
どんどん 伝言板へ

広報クイズ ③1

(問題)

- ①昭和63年度の一般会計決算の歳入の総額は?
A 50億2093万円 B 38億2093万円 C 48億463万円
 - ②一般会計歳入に占める割合が一番多いのは?
A 町税 B 地方債 C 地方交付税
 - ③一般会計決算の歳入と歳出の差額は?
A 1億円 B 1億5300万円 C 1億7630万円
- (4P・5Pの昭和63年度決算報告を参照してください。)

〔応募方法〕

☆はがきに答えの記号(例①)

①A、②B、③C、住所、氏名、年齢を記入して送ってください。全問正解の人の中から、抽選で3人の方にテレホンカードをプレゼントします。また、答えのほか、今月の広報あさひについてのご意見などを書き添えていただければ幸いです。

紙上匿名を希望の場合は、その旨をはっきりと書いてください。

☆あて先 〒939-07 朝日町道下1133番地 朝日町役場内 秘書広報係まで。

☆締め切りは12月11日です。

☆前回の当選者は、水島勝美さん(46歳)、佐藤真寿美さん(12歳)、たかひろ36(?)さんに決まりました。

鑑賞的な秋

朝日町美術展

11月1日から3日間、絵画・書・彫刻・工芸・写真など200点の作品を集め、第10回朝日町美術展が福祉センターおよび勤労青少年体育センターで開催されました。

審査員講評 〈絵画〉作者個々の視点と内面が、様々な表現分野の中で豊かに表現され、活気のある内容であった。(松倉唯司) 〈書〉破綻な線、軽い華やかな作品が多い風潮にあって、この会場の作品は、基本的にしつかりしているやみのない作が多く、嬉しかった。(水島藍潮) 〈彫刻・工芸〉素材の持つ特性を活かして今後もオリジナルな作品を期待します。(殿村芳謙) 〈写真〉例年に比べ組写真が出品されたこと、サイズの大型化など、



▲1500人近い人が芸術の秋を満喫

一段と進歩向上のあとが見られ喜ばしい。(能島誠一)

なお、町展大賞に輝いたのは次の方々です。

- 絵画の部 丸岡由香(泊高)
- 書の部 更田俊子(平柳)
- 彫刻工芸の部 川上貞一(長野)
- 写真の部 木村信嗣(本町)

富山県スポーツ奨励賞

スポーツクラブや地域社会で顕著な活動または献身的な世話をしている人を表彰する「富山県スポーツ奨励賞」の授賞式が、10月11日に富山県庁で行われ、当町から18人の方が受賞されました。

- ▼のびのび賞(小学生)
- ・角丸英至(山崎スポーツ少年団)
 - ・竹内文寿(黒菱スポーツ少年団)
 - ・松原洋平(蛭谷ラグビースポーツ少年団)
 - ・菅田智雄(大家庄サッカースポーツ少年団)

- ▼はつらつ賞(19歳以下)
- ・佐渡雅晴(朝日町白馬クラブ)
 - ・サツカー)・柳下雅和(朝日バドミントン愛好会)
- ▼さわやか賞(30歳以下)
- ・鍋島俊雄(境スポーツ少年団)
 - ・谷勝由(山崎スポーツ少年団)
 - ・柳沢伸一(朝日スキークラブ)
 - ・扇谷俊成(宮崎地区体育協会)
 - ・中陣将夫(泊三区体育協会)
 - ・高木英三(泊二区体育協会)
 - ・中村和彦(南保地区体育協会)
 - ・岡本登喜子(朝日町ビーチバレーボール協会)
 - ・森野恵子(朝日町卓球協会)

卓球協会

- ▼ほのほの賞(60歳以上)
- ・寺田啓次(朝日町ゲートボール協会)
 - ・加藤善治(朝日町ゲートボール協会)
 - ・草島利夫(朝日町ソフトボール協会)

安達さん全国3位に

第25回全国身体障害者スポーツ大会(札幌市)において、富山県代表として参加した安達良之助(桜町)さんが、立幅跳(2.29)とハンドボール投(22.96)でそれぞれ3位に入る健闘をされました。

県大会等成績

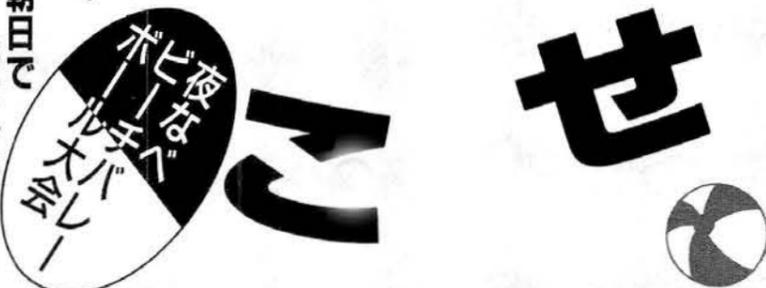
- 第13回富山県ジュニアオリンピック中学校陸上競技大会(県営富山陸上競技場)
- ▼砲丸投 2位 松本彩子(10.07・朝日中)
 - ▼ボール投 2位 松本彩子(44.86・朝日中)
- 第7回富山県駅伝競走大会(10月29日、富山・高岡間)
- ▼下新川郡チーム 男子4位 女子14位
 - ▼区間賞 5区間 伊藤政博(大家庄) 大会新記録

町大会等成績

第2回町民ゲートボール大会

- できごとスポーツ 10
- (町民総合グラウンド)
- 1位 宮崎チーム 2位 殿町チーム 3位 身障者協会チーム 4位 泊二区Bチーム
- 町民夜間バレーボール大会(町民総合体育館)
- ▼男子の部 1位 藤塚愛好会 2位 くさの
 - ▼女子の部 1位 月山女子クラブ 2位 主二区
- 朝日町ミニバスケットボール秋季大会(町民総合体育館)
- ▼男子 1位 宮崎チーム 2位 五箇庄チーム
 - ▼女子 1位 宮崎チーム 2位 泊チーム
- 第12回朝日町民駅伝競走大会(11月12日、6区間20km)
- ・地区対抗の部
 - 1位 大家庄体協A(69分54秒)、2位 山崎体協A(71分44秒)
 - ・女子の部
 - 1位 朝日中女子陸上部(86分45秒)、2位 朝日中女子バスケ対抗の部(87分57秒)
 - ・クラブ対抗の部
 - 1位 入善高校陸上部(朝日中OB、67分53秒)、2位 朝日中男子陸上部(73分46秒)
 - ▼区間賞
 - 1区間 伊藤政博(12分)、2

夜を起こせ 人を起こせ 町を起こせ



SPORTS の秋

朝日町であさひ(日の出)を迎えよう」を合い言葉に、朝日町むらおこし推進協議会主催の第3回夜なべビーチバレーボール大会が、10月28日から29日にかけて、総合体育館、朝日中体育館を会場に行われました。

大会には、町内外から54チーム、約1500人の選手が参加、3ブロックに分かれ、18チームによるリーグ戦(1チーム17試合)に熱戦を展開しました。太鼓の音を合図に午後6時から翌朝の7時過ぎまで、文字どおり、夜を徹して、みんなで町を起こし続けました。

- 区間 米津春樹(13分35秒)、3区間 西田重和(11分36秒)、4区間 林清唯(13分48秒)、5区間 江端孝雄(9分52秒)、6区間 稲荷優(8分01秒)

消防団秋季演習

11月15日、消防団秋季演習が実施され、管内全域の巡回広報、放水訓練、分列行進などのほか永年消防業務に功績のあった方々への表彰伝達が行われました。

富山県知事現場表彰 北山龍男(第1分団 部長)、谷明(第1分団 団長)、広田諠(第

- ・女子の部
- 1区間 中谷真理子(16分36秒)
 - 2区間 大森尚子(15分14秒)
 - 3区間 水島雪枝(14分11秒)
 - 4区間 長井美穂(17分10秒)
 - 5区間 中島裕子(11分55秒)
 - 6区間 谷口理恵(9分29秒)

- ・クラブ対抗の部
- 1区間 鳴田 晋(12分15秒)
 - 2区間 間部諒三(13分38秒)
 - 3区間 七沢 誠(10分29秒)
 - 4区間 谷 元氣(14分15秒)
 - 5区間 更田宏樹(9分01秒)
 - 6区間 石井 誠(7分40秒)

朝日町長退任者感謝状

- 北山幸(元第1分団分団長)
- 水野取作(元第1分団部長)
- 青島末次(元第1分団員)
- 谷口有保(元第1分団員)
- 大野常一(元第2分団部長)
- 古田良隆(元第2分団部長)
- 平坂秀雄(元第4分団部長)
- 長井宗一(元第5分団部長)
- 折谷勝秀(元第5分団部長)
- 水島暁(元第6分団分団長)
- 金子実(元第6分団分団長)
- 宮川逸郎(元第6分団分団長)
- 末上亮三(元第6分団分団長)

町長のひとりごと



執務室から見える北アルプスの山々も白くなり、日一日と寒さが増してきました。今冬の雪が気にかかる時期です。さて、「町長と話す集い」も終わりました。貴重なご意見を聞かせていただき感謝申し上げます。やはり、雪に関するご意見、とりわけ消雪装置の問題が多く、今後とも渾身の努力をしまりたいと考えております。

ふるさと創生の1億円については、用途がほぼ決定する段階にきています。12月議会に報告し、審議していただいたうえで、使っていくたいと考えていますが、数点に分けた使い道を予定しています。町民の方から『町長らしく全額を一度に使ってはどうか』というご意見も聞いてはおりますが、今回は一応の土台づくりをと思い、分散という形を考えています。

町は、平成6年には町制施行40周年を迎えます。それまでに、町のイメージアップを図るべく、町のカラーを積極的に打ち出すCI(コーポレート・アイデンティティー)計画に取り組みたいと考えています。先に、自治省のふるさと創生事業継続の意向が報道されましたが、全国の市町村同様、私も喜んでおります。期待を込め、今後の動向を見守りたいと考えています。

ホット求人情報

平成元年12月分

整理番号	求人職種	年齢	賃金(円)	性別	就業場所	採用人数	資格経験等
1	クレーン運転手	18才~45才	250,000~300,000	男	朝、舟川新日	3	クレーン運転免許見習可
2	ボデー組立工	18才~45才	105,000~160,000	男女	朝、桜町日、祝、第2土曜日	2	不問
3	除雪作業運転手	20才~50才	260,000~325,000	男	朝、沼保日	7	大型運転免許12/25~2/25
4	機械電気設計	18才~30才	117,500~252,500	男女	朝、草野日、祝	2	普通自動車免許
5	生産製造工	18才~35才	107,500	女	入、荒又日、祝	2	不問
6	包装作業工	18才~40才	82,000~85,000	女	入、入膳日、祝、土	1	不問
7	歯科助手	18才~40才	時給500~600	女	朝、泊日、祝	1	高卒以上14時~18時半
8	紡績工	18才~50才	100,920	女	朝、平柳日(年間104日)	10	不問
9	事務員	18才~40才	100,000~110,000	女	朝、沼保日	1	普通自動車免許
10	事務員	40才~50才	135,000	女	入、鶴山日	1	高卒以上普通自動車免許

☆「求人情報一覧表」もご利用下さい。(商工観光課カウンターに展示)
 ☆くわしいことは、魚津公共職業安定所朝日分室 ☎82-0198 へお問い合わせください。



朝日町社会福祉協議会は、皆さんと共に地域の福祉向上を目指す福祉団体です。
 ・場所 朝日町福祉センター内 ☎83-0576

笑顔ふれあいう

第10回福祉ふれあいう祭り

今回で10回目を迎えた朝日町福祉ふれあいう祭り、今年も10月23日、老人福祉センターを会場に開催されました。
 この日は、老人クラブや身体障害者協会、ボランティアの会をはじめとする町の福祉関係者約300人が参加。軽妙しゃだつな魚住久雄さんの司会にのって、各団体からの代表が唄や踊りなど、ユニークな出し物を次々と披露すると、会場内は拍手と笑いの渦に。

その後、しあわせ抽選会やボランティア特別演芸として、佐味野民謡会、朝日民舞会、四ツ葉会、若草会からの賛助出演もあるなど、この日会場には、笑顔とふれあいの輪が広がりました。



富山県社会福祉大会表彰者
 第38回富山県社会福祉大会が10月4日、県民会館で開催され、朝日町からは次の方々が表彰を受けられました。

富山県知事表彰

(社会福祉事業活動者) 寺心芳さん(殿町)
 富山県知事感謝状 (永年勤続民生委員児童委員) 江淵泰子さん(竹の内)

ふれあいう昼食会

朝日町の65歳以上の一人暮らし老人の数は約240人。社会福祉協議会では、その方々を昼食に招き、歌や踊りなどを披露する「ふれあいう昼食会」を、婦人民生委員、日赤奉仕団員、食生活改善推進員の協力をいただいて、各地区で行いました。



▲お年寄りの皆さんは大喜び

あなたの気持ちを「愛の袋」へ
 歳末たすけあい運動
 今年も「地域でささえあう明るいお正月」をスローガンに、12月1日から歳末たすけ



▲愛の袋

あい運動が始まります。これは、皆さんに協力していただいた募金で、恵まれない家庭や施設入所者、寝たきり老人の方々などをお見舞いし、みんなで明るい年を迎えようといわれるものです。募金の取り扱いについては、各地区の民生委員、町内会長さんにお願ひしています。皆さんのお宅に「愛の袋」が届いたら、あなたのあたたかい気持ちを入れてください。

賛助会員加入状況

ただいま募集している町社会福祉協議会に次の方々から加入申し込みがありました。(敬称略)
 白本喜一、白本都、白本喜三天、長津修、柚木愛子、柚木律子、水島洋子、竹林喜栄、土居清、土居淳子、小川静夫、小川キクエ、山田敏春、佐渡勲、谷武吉、小川弥一、小川ヨシ、小川正夫、小川実和子、広田健三、広田絹子、森川友久、森川エミ、林政雄、小川久悦、藤田吉弘、藤田二三枝、藤井敏弘、藤井みさを、渡辺市郎、小川茂、広田幸春、藤田伊蔵、前川和章、前川美和子、林推夫、藤田康弘、広田直、広田京子、藤田好郎、藤田花子、藤田利一、藤田キヨシ、前川長保、前川ぬひ、前川富夫、藤田吉明、林正康、林のり子、藤田道乃、藤田てる、藤田勇、藤田好子、高倉吉久、高倉多加代、高倉吉樹、高倉昌美、以上57名61口(11月7日現在)
 ▼申し込みは、町内担当民生委員または町社会福祉協議会へ。なお、先月号の賛助会員加入者のうち、中島善一郎氏は中島喜一郎氏の誤りでした。お詫びして訂正いたします。
ありがとうあなたたい志
 朝日町善意銀行 (10月11日~11月10日)
 ♥黒部市 岩井忠澄さんから 2,800円
 ♥境 水島一義さんから、亡妻マツイさんの供養として 香典返しの一部 300,000円
 ♥桜町 澤田あきさんから、亡夫義一さんの供養として 香典返しの一部 100,000円

おしらせかわら版

募集

コンテスト写真

建設省黒部工事事務所では直轄海岸事業30周年を記念して「下新川海岸」をテーマにした写真を次のとおり募集しています。
 応募作品 未発表のもので白黒・カラーは問いません。作品のサイズはキャビネ(13センチ×18センチ)以上、四ツ切りまで。
 募集テーマ 下新川の海(黒部市・入善町・朝日町)を題材にした作品。
 締切 平成2年5月末日まで。
 表彰 優秀作品は30周年記念式典において表彰します。
 応募・問い合わせ先 建設省

役場(代表) 教育委員会

☎83-1100 町民総合体育館
 ☎82-1104
 ☎83-1838

もよおし

婦人レクリエーション教室

12月1日(金)から5回に亘り、後期婦人レクリエーション教室を勤労青少年体育センターで開催します。民謡やレクリエーションダンスなど盛り沢山の内容となっています。奮って参加してください。奮って申し込みは、当日までに教育委員会へ。

おしらせ

成人式出席者は

朝日町に住所がなくても、朝日町の成人式に出席したい

年金だより

免除を受けた期間の保険料は追納できます。
 国民年金では「所得がない」などで保険料を納めることができないときには、免除制度があります。その場合、将来の年金額は免除期間だけ3分の1で計算されます。そこで、経済的に余裕ができたときに10年前までさかのぼって保険料を納められる追納制度があります。ご利用ください。

住所を変更したときは すみやかに届出を

年金を受けている人が住所を変更したときは、「住所・支払機関変更届」を提出してください。
 提出がない場合、支払通知書や振込通知書が届かないため、年金の支払いが遅れたり、希望する金融機関での支払いが受けられないこととなります。すみやかに提出を。

おすこやかに

水島孝介 長女 玲奈 境 町
水島健 長男 知成 中末 広
松下茂 長女 優 殿 舟 川
鹿熊忠司 長女 けい子 麻理 恵
岡田浩義 長女 秋徳
右井宗雄 長女

三人目の誕生
おめでとございます。

飯田 貞 二女 円佳 荒川 二丁目

おしあわせに

竹谷 俊範 宮崎 下川 野川 野町 町 市 市 保 泉 川 野 町 崎 町 橋 町
折谷 素美 道上 西三浦 善 入 上 東 西 黒 松 富 沼 千 赤 草 榮 辻 桜 三 入
折谷 慶子 二美 淳 美 徳 子 和 彦 美 一 子 和 彦 と 美 恵 雅 ず え 昭 彦 京 子 根 由 美 久 之 美 貴
中村 浩二 美 淳 美 徳 子 和 彦 一 子 和 彦 と 美 恵 雅 ず え 昭 彦 京 子 根 由 美 久 之 美 貴
川内 二美 淳 美 徳 子 和 彦 一 子 和 彦 と 美 恵 雅 ず え 昭 彦 京 子 根 由 美 久 之 美 貴
高田 美徳 子 和 彦 美 一 子 和 彦 と 美 恵 雅 ず え 昭 彦 京 子 根 由 美 久 之 美 貴
板倉 美徳 子 和 彦 美 一 子 和 彦 と 美 恵 雅 ず え 昭 彦 京 子 根 由 美 久 之 美 貴
若林 和彦 美 一 子 和 彦 と 美 恵 雅 ず え 昭 彦 京 子 根 由 美 久 之 美 貴
小林 純一 子 和 彦 と 美 恵 雅 ず え 昭 彦 京 子 根 由 美 久 之 美 貴
杉本 弘和 彦 と 美 恵 雅 ず え 昭 彦 京 子 根 由 美 久 之 美 貴
舟本 上 美 恵 雅 ず え 昭 彦 京 子 根 由 美 久 之 美 貴
大村 和 彦 美 一 子 和 彦 と 美 恵 雅 ず え 昭 彦 京 子 根 由 美 久 之 美 貴
大川 喜 美 恵 雅 ず え 昭 彦 京 子 根 由 美 久 之 美 貴
水島 原 昭 彦 京 子 根 由 美 久 之 美 貴
笠原 昭 彦 京 子 根 由 美 久 之 美 貴
折谷 昭 彦 京 子 根 由 美 久 之 美 貴
折谷 昭 彦 京 子 根 由 美 久 之 美 貴
名古 昭 彦 京 子 根 由 美 久 之 美 貴
鍛冶 昭 彦 京 子 根 由 美 久 之 美 貴
藤田 昭 彦 京 子 根 由 美 久 之 美 貴
宝田 昭 彦 京 子 根 由 美 久 之 美 貴

ごめいふくを

水島 善作 (82) 境 崎 町 野 町 目 川 入 崎 新
水島 マツイン (58) 宮 崎 田 草 涛 五 丁 岩 川
口 岩 田 長 雄 (92) 宮 崎 中 東 西 松 荒 川 赤 羽 辻 舟
佐 山 野 定 子 (69) 宮 崎 中 東 西 松 荒 川 赤 羽 辻 舟
青 上 野 秋 敏 (86) 宮 崎 中 東 西 松 荒 川 赤 羽 辻 舟
寺 井 秋 敏 (66) 宮 崎 中 東 西 松 荒 川 赤 羽 辻 舟
長 井 秋 敏 (85) 宮 崎 中 東 西 松 荒 川 赤 羽 辻 舟
川 井 秋 敏 (90) 宮 崎 中 東 西 松 荒 川 赤 羽 辻 舟
広 井 秋 敏 (81) 宮 崎 中 東 西 松 荒 川 赤 羽 辻 舟
佐 井 秋 敏 (84) 宮 崎 中 東 西 松 荒 川 赤 羽 辻 舟
大 井 秋 敏 (74) 宮 崎 中 東 西 松 荒 川 赤 羽 辻 舟
山 井 秋 敏 (88) 宮 崎 中 東 西 松 荒 川 赤 羽 辻 舟

治安の維持に三十三年
湯島さん勲五等双光旭日章
「文化の日」の十一月三日、秋の叙勲が発表され、神田町の湯島力太郎さん(七十四歳)が、勲五等双光旭日章を受賞されました。
湯島さんは、昭和十一年に富山県巡査を拝命以来、昭和四十五年富山署長を最後に退職されるまで、三十三年の長きにわたり治安維持に尽力されました。



▲喜びの湯島さん

おもかげよみがえる
おもかげゾーンで神田まつり
神田町の「おもかげゾーン」が完成したのを祝い、十一月三日、神田町の町内会の皆さんの手による「神田まつり」が行われ、多くの人出でにぎわいました。
神田町は、かつてのおもかげゾーンのび多くの人...



自然石の石畳と
自然石の石畳と
自然石の石畳と
自然石の石畳と



風に負けるな
宮崎小でたこ上げ集会
自作のタコを大空高く上げようと、十一月四日、宮崎小学校の子どもたちが、海岸でタコ上げ集会を行いました。
この日は、さわやかな潮風が吹く絶好のコンディション。子どもたちが丹精込めて作ったたこや立休だこは、風をとらえ見事に舞い上がりました。



快音に 気分はグリーン
婦人ゴルフ教室
今や、ゴルフはみんなのスポーツ。教育委員会が十月二十三日から十回コースで開催した婦人ゴルフ教室には、最近のゴルフブームを反映してか、二十代から六十代までの女性三十三人が参加しました。
「クラブはこうして握って」、「ボールから目を離さず」、初めてクラブを握るという人も、町の名ゴルフアー七名指導を受け、めきめきと上達。グリーンに出る日も近いかもしれませぬ。

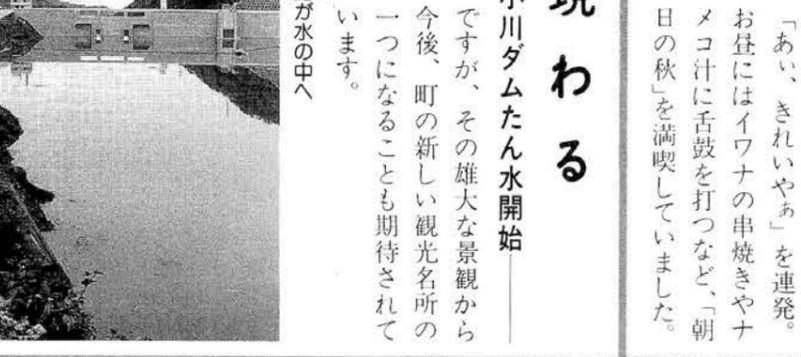


自給自足の味
大家庄小で収穫祭
十月二十六日、大家庄小学校で、おしいちゃん、おばあちゃんらを招いて学校の収穫祭が行われました。この日、収穫したお米を五目ごはんにしてもらった子供たち、何度もおかわりするなど、自給自足の味を楽しんでいました。



▲おかわりしたよ!

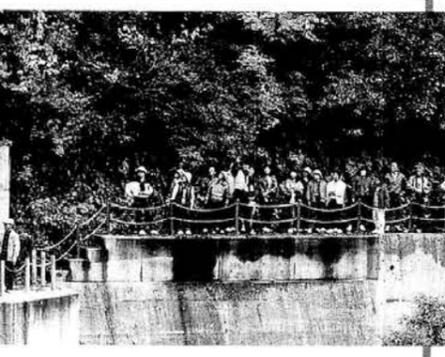
神秘の湖現わる
来年度完成が予定されている県営朝日小川ダムに水を貯める「たん水式」が十月三十日行われ、小川の上流に深いエメラルドグリーン
この朝日小川ダムは、洪水調節や発電などを行う多目的ダムとして建設されているもの



▲ゆつくりとしたペースで城山山頂へ

歩みかみしめて
身障者山岳歩行訓練
秋晴れの十月二十三日、富山県身体障害者福祉協会の山岳歩行訓練が朝日町の城山で行われました。
この日は県内各地から、足や耳の不自由な方々約百五十人が参加。午前十時三十分

あいきれいやあ
観光ふれあいバス教室
町の名勝や史跡を回る観光ふれあいバス教室が、十月二十八日・二十九日の両日行われ、二日間定員いっぱい二百人が参加しました。
今回、棚山ファミリールン下から、紅葉真っ盛りの越道峠、北又を訪れた皆さんは、「あい、きれいやあ」を連発。お昼にはイワナの串焼きやナメコ汁に舌鼓を打つなど、「朝日の秋」を満喫していました。



あいきれいやあ
観光ふれあいバス教室
町の名勝や史跡を回る観光ふれあいバス教室が、十月二十八日・二十九日の両日行われ、二日間定員いっぱい二百人が参加しました。
今回、棚山ファミリールン下から、紅葉真っ盛りの越道峠、北又を訪れた皆さんは、「あい、きれいやあ」を連発。お昼にはイワナの串焼きやナメコ汁に舌鼓を打つなど、「朝日の秋」を満喫していました。

今月の表紙

今月のモデル協力者



♡渡辺あゆみさん(21)

♡朝日町境

♡若き日の思い出に

今月の撮影場所

今回の撮影場所は、広域農道(スーパー農道)の「新川小川橋」です。

この橋は、小川の河口から5.5キロメートル上流の殿町と高島地内を結ぶ地点にかけられたもので、長さ127メートル、幅10.45メートル、片側に幅2メートルの歩道がついているほか、車道部分には町の橋では初めての消雪装置がつけられています。

この新川小川橋、一般への供用は、来年半ばになる予定です。



「このページはこういうふうにした方が…」などと思いがちですが、次の号に追いかけられ、ついつい先送りに…。どうも「走りながら考える」というトレーニングが足りないというように思います。▼広報は、町民の皆さんが主役」とはいえ、当然その演出の方法や参加しやすい雰囲気作りが大切なのは、言うまでもないことです。新しい年に向かい、もっともつとトレーニングを積んでいく必要があると感じています。

〔11月の人口〕 男 8,575(-3) 女 9,637(-1) 計 18,212(-4) 世帯数 5,122(+12)



第九話

「お三狐と与助」

むかし、生地の浜に「魚うりの与助」という男がおって、毎日毎日、天びん棒を肩にかついで大家庄の村へ魚を売りに来たもんじゃとい。暗いうちに起きて来ても大家庄へ着くころあ、東の方の空が明るなつとつたもんやと。

大家庄へ行く途中にや、むかしやあちこちに林があつて、そんな中にお三狐という年よりの狐に、与助は、ようだまされて魚をとられとつたそうや。

ある日、与助が林にさしかかると案のじよう、狐が木の陰でこそこそと動いとつたがじゃと。「お三狐やな。今日こそあ、だまされんぞ」と、与助が草むらを注意

▼狐は柴の葉をヒヨイと頭にのせると…



絵と文……「椎の木グループ」の紙芝居から

して見ておると、狐は柴の葉をヒヨイと頭にのせ、パツと美しい着物姿の娘に化けて、するすると歩いて行ったがやと。「ちきしょうめ。娘に化けて誰をだますつもりじゃろ」と、そうつとあとをつけ

ていくと、娘は道にしゃがんで、ふところから重箱を出し、馬のクツを拾っては箱に入れとるがやと。そしてその箱を風呂敷に包んで、またどんどん歩いて行くがやと。「大変じゃ。どこへ持って行く

がやろ。あとをつけていくと、娘は小さな寺へスーッと入っていったがやと。与助は、門の前に魚のかごをおろしてついていくと、娘は「お早ようございませ。茂平の娘ですが、父ちゃんの名日ながでおはぎを持って来ました」と、寺の奥さんに重箱を渡したがいと。「まあまあ、朝早くからどうもありがとう。うれしそ。うに奥さんが家の奥へ行こうとするがを見た。与助は、「奥さん、奥さん、その娘は狐で、重箱の中はおはぎじゃなく、馬のクツですよ。あんたはだまされておいでじゃ」と大声を出して飛び出したがいと。すると奥さんと娘は「オホホホ」、「アハハハ」と笑いこけて、「与助さん、化かされてお前さんだよ」と言うとお寺もろともパツと消えてしもうたがじゃと。「しもた! またやられた。与助はあわてて魚のおけを見に行くと、魚は一匹残らずなくなつてしもうたがやとい。今日もまた、与助がお三狐にまんまと化かされてしもうたという話じゃ。



●平成元年12月号 18

▼はやいもので今年も残すところ、あとひと月。春に広報を担当して以来、締め切りに追われること八回。社会に出てからこれほど月日の経過を早く感じた年はなかつたような気がします。▼「町民の皆さんに待たれる広報紙作りを」と思いながらも、いかんせん力不足。思いどおりの紙面がなかなか作れません。「この写真をもう少し大きくして…」、「このページはこういうふうにした方が…」などと思いがちですが、次の号に追いかけられ、ついつい先送りに…。どうも「走りながら考える」というトレーニングが足りないというように思います。▼広報は、町民の皆さんが主役」とはいえ、当然その演出の方法や参加しやすい雰囲気作りが大切なのは、言うまでもないことです。新しい年に向かい、もっともつとトレーニングを積んでいく必要があると感じています。